

葺

〔音読み〕ボウ／モウ

〔訓読み〕いらか

【意味】いらか。むながわら。棟をおおうかわら。「葺宇」「葺棟」

〔下つき〕連葺 レネヤ

①いらか。瓦で葺いた屋根の棟。又、其の瓦。むながはら。

〔説文〕葺、屋棟也、从_レ瓦夢省聲。

〔段注〕棟者極也、屋之高慮也、云云、棟自_二屋中_一言之、故从_レ木、葺自_二屋表_一言之、故从_レ瓦。

〔釋名、釋宮室〕屋脊曰_レ葺、葺、蒙也、在_レ上覆_二蒙屋_一也。

〔國語、晉語二〕鎮_二其葺_一矣。

〔注〕葺、棟也。

〔倭名類聚抄、居處部、屋宅具、葺、箋注〕葺、謂_二屋脊尖鋒之處_一、故有_二是名_一、今俗所謂棟瓦、蓋是。

①めばえ。芽を出す。萌 (9-31265) に同_二。

〔周禮、秋官、薙氏、春始生而萌_レ之、注〕故書、萌、作_レ葺、杜子春云、葺、當_レ爲_レ萌、謂_二耕_一反其萌芽_一、

書亦或爲_レ萌。

③毎_二十瓦_一 (7-21508) ・木_二十葺_一 (6-15793) に同_二。

〔集韻〕葺、或从木、亦作毎_二十瓦_一

【熟語】

蓼宇 バウウ

【意味】 棟宇をいふ。家屋。

〔張衡、西京賦〕塵里端直、蓼宇齊平。

〔注〕濟曰、蓼、棟宇也。

蓼棟 バウトウ

【意味】 いらかとむね。

〔班固、爲第五倫薦謝夷吾疏〕誠社稷之蓍龜、大漢之蓼棟。

〔劉孝綽、酬陸長史偃詩〕朝猿響蓼棟、夜水聲帷薄。

蓼標 バウヘウ

【意味】 屋根のいらかの端。

〔張衡、西京賦〕鳳騫翥於蓼標、威迥風而欲翔。

〔注〕綜曰、蓼、棟也、標、末也。

《参照した辞書辞典》大漢和辞典 大修館書房

註：(n-mmm) は同辞典の巻検字番号を示しています。例えば「萌 (9-31265)」とあ

れば、第9巻の31265番目の項目に「萌」の詳細が載っているという意味です。